

タイムビジネスとは

“時刻配信(時刻情報の提供と時刻監査)”及び“時刻認証(タイムスタンプの付与と有効性証明)”に関する業務です

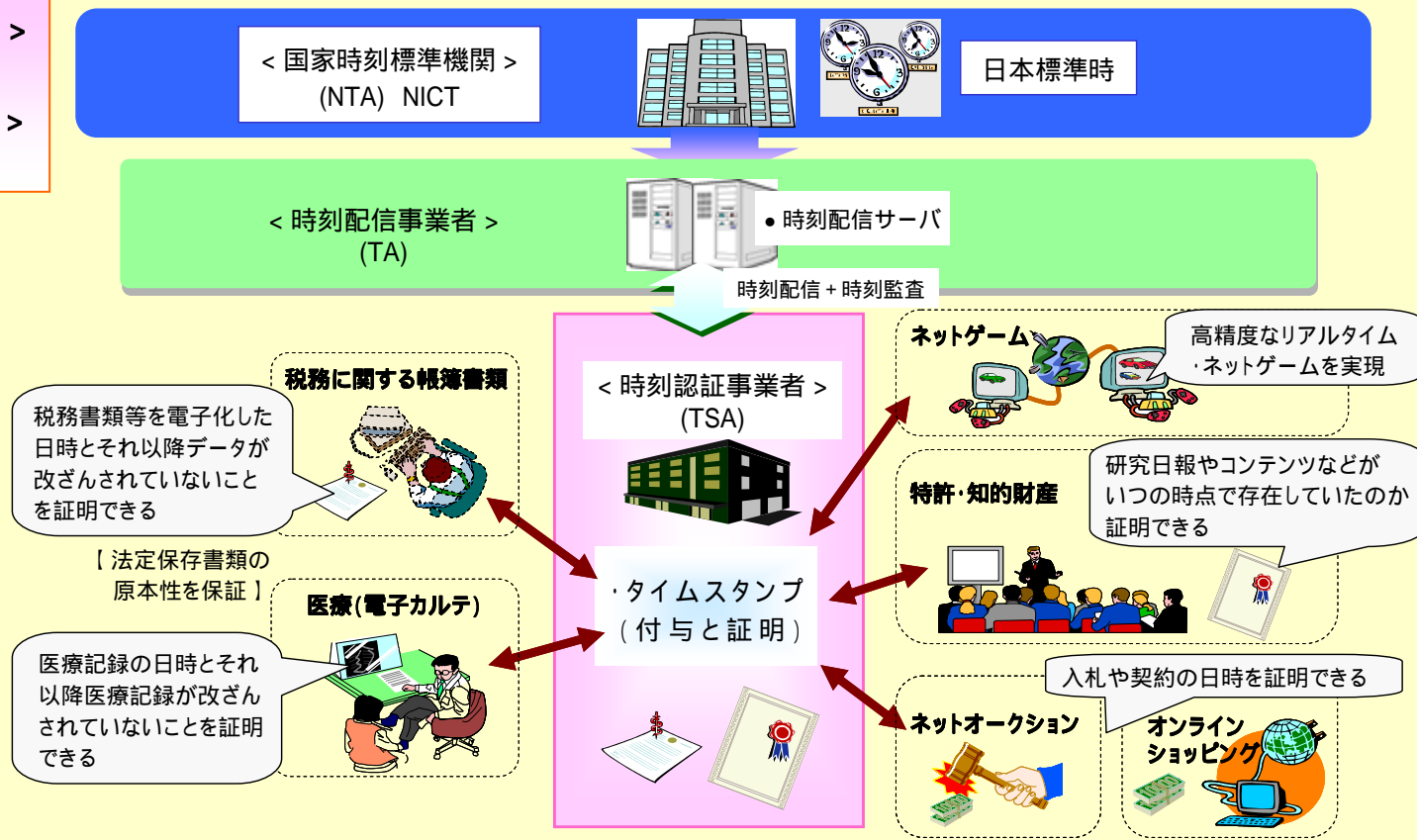
タイムスタンプ … 電子データが“ある日時に存在していたこと”及び“その日時以降に改ざんされていないこと”を証明できるものであり、時刻認証事業者によって付与され有効性を証明してもらいます

タイムスタンプ利用によるメリット … 様々な分野において流通する電子データに対し高い信頼性を与えることができます

<適用例>

- ・ 知的財産保護 : コンテンツ作成日時を証明することにより制作者の権利を保護
- ・ 電子商取引 : 受発注データに適用することにより取引日時を証明
- ・ 電子カルテ : 診察・診療記録データに適用することによりカルテ非改ざんを証明
- ・ 電子申請 : 発行データ等に適用することにより発行日時を証明

<タイムビジネスの構成>
及び
<タイムスタンプの利用>
イメージ

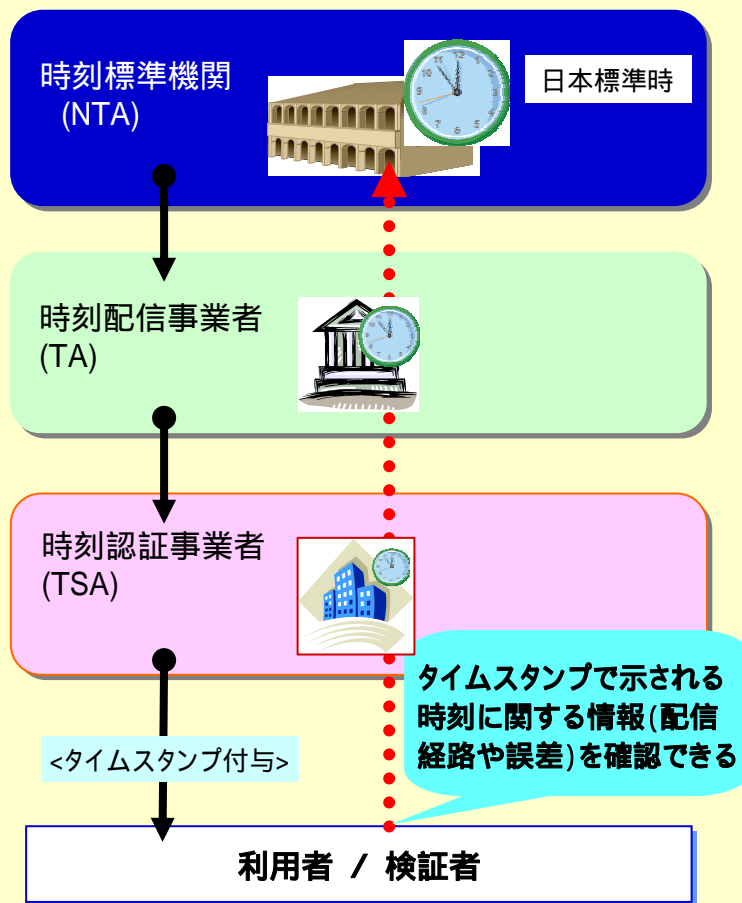


【総務省委託研究】 『タイムスタンプ・プラットフォーム技術の研究開発』 (平成15～17年度)

誰もが安心して利用できるタイムスタンプ・サービスの高度化に資するため、次の機能を実現する研究開発を行っています

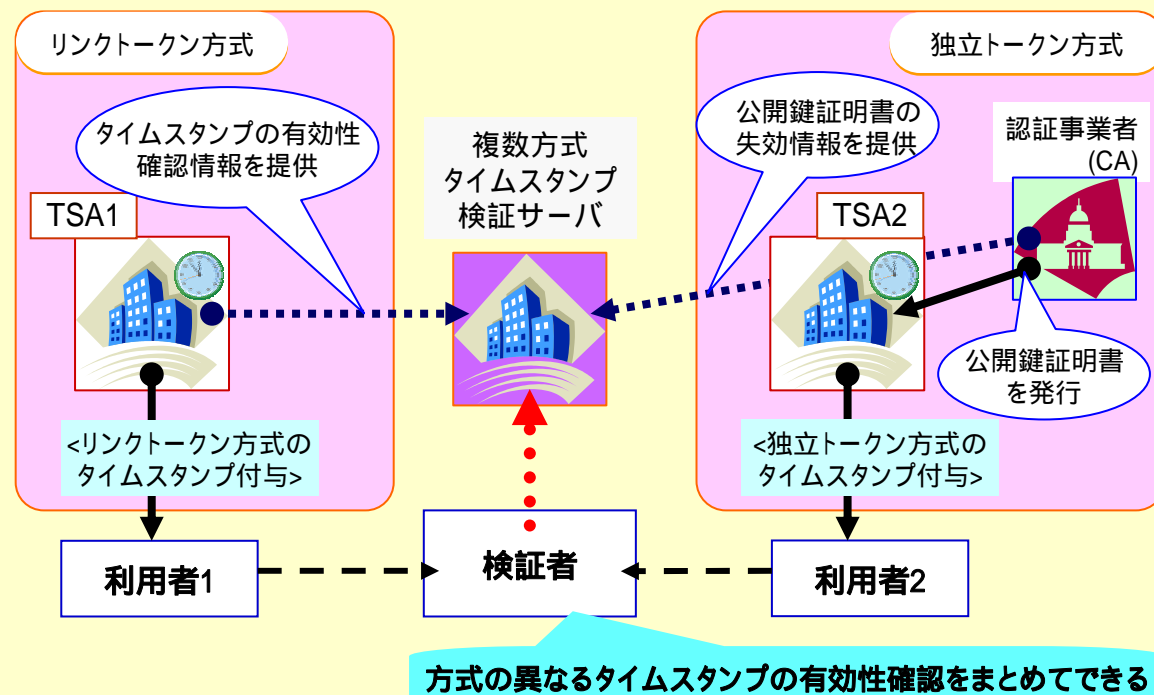
● 時刻トレーサビリティ機能

タイムスタンプに用いられている時刻情報が日本標準時に準拠していることを確認できる



● 複数方式タイムスタンプ検証機能

タイムスタンプの方式に関わらず検証確認を一箇所でまとめてできる



方式の異なるタイムスタンプの有効性確認をまとめてできる

【タイムスタンプの方式】

- ▶ 独立トークン方式 … タイムスタンプ生成に用いる安全性の高い秘密鍵に対応する公開鍵証明書の有効性により保証する方式
- ▶ リンクトークン方式 … 他のタイムスタンプに係るハッシュ値 と関連したリンク情報を安全に保存しておくことにより保証する方式

ハッシュ値：入力データの大きさに関係なく固定長のデータを出力する関数(ハッシュ関数)によって得られる値。このハッシュ値から入力データを導き出すことはできない。また、ハッシュ関数は、入力データがわずかでも異なると出力するハッシュ値が一致しない特徴を持つ。